



いちようっ子

～地域に愛され、地域とともに歩んで50年！～

＜学校教育目標＞ 児童数400名

〔強 く〕 自信をもち、心身ともに鍛える子
〔正しく〕 深く考え、進んで学ぶ子
〔美しく〕 明るく、思いやりのある子

鴻巣北小の「桜の標本木」は？

昨年の本校の桜の開花宣言（標本木に5～6輪の花が開いた時点）は、3月17日でした。では、本校の桜の標本木はどこにあるのでしょうか？

本校の敷地内には、11本の桜の木があるのですが、学校近隣に住む方の話によると、昔から校舎北側通用門の横（給食室前）にある桜を標本木として、本校の桜の開花を判断しているとのことでした。

先日、その標本木を観察していたら、茶色のごつごつとした枝の中にもふっくらとしたたくさんの蕾がありました。そしてよく見ると、中にはうっすらと薄いピンク色をしている蕾もありました。春はすぐそこまで来ています。明日から3月。春の訪れとともに卒業、進級の時期がやってきました。



令和3年度を振り返ると・・・

本校創立50周年となる記念すべき令和3年度も、早いものであとひと月で終わろうとしています。振り返ると、今年度も新型コロナウイルスに翻弄された1年となりましたが、そのような中でも数々の50周年記念行事をはじめ、運動会、音楽会、宿泊・校外学習など、昨年度以上に充実した教育活動を実施することができました。これも、日頃より本校を温かく見守り、支えていただきましたPTA役員をはじめ、学校評議員、あいさつ・防犯ボランティア、交通指導員、旗振り当番、芝生管理隊、ブックメイト、授業ボランティア、いちようっ子パパなど、たくさんの保護者や地域の皆様のおかげだと心より感謝しております。ありがとうございました。

また今年度は、一人一台のPCの導入により、ICT教育が急速に発展した1年でもありました。まだまだ課題は山積しておりますが、日々の授業での活用をはじめ、学校と家庭を結ぶオンライン授業、家庭へ持ち帰っての活用等、今や子どもたちにとってPCを活用した学習活動は日常的なものになってきました。今後PCと向き合う時間がますます多くなっていくことが予想されますが、そのような中でも本校では、人と人との心のふれあい・かかわりを大切に、教職員一同、子どもたちの心に寄り添った愛情ある指導、そして教職員自らの姿で範を示す、人間教育もしっかりと行っていきたいと考えております。

それぞれの頑張りや成長に温かい言葉を！

6年生73名は、間もなく本校を卒業します。そして1年生から5年生の327名は、一つ学年が進級します。1年の終わりを迎えたこの時期、6年生はとても凛々しく、そして5年生は頼もしく見えます。また、その他の学年の子どもたちにも大きな成長が見られ、顔つきも変わっています。子どもたちには、この1年間で頑張ったことやできるようになったことなど、自分の努力や成長をしっかりと確認させ、卒業・進級させたいと思います。

ぜひご家庭においても、お子さんの1年間の頑張りや成長に温かい言葉をかけてあげてください。決して成否だけをみるのではなく、努力した過程や挑戦したことなどを認め、ほめてあげてください。

令和3年度も最後のひと月となりましたが、引き続き変わらぬご支援・ご協力をお願いいたします。

校長 上岡 勝